

令和3年度シラバス (教科・科目：芸術・ソルフェージュ)

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制午前・夜間	単位数	必履修・選択
午前	2	選択

教科書	学習書・他教材
『高校音楽 I Music View (教育出版)』	担当者が作成したプリント

学習目標	
音楽に関する、主に楽譜を読むための基礎的な能力を身につけ、表現活動につなげる。 簡単なリズムや音を聞き取る事ができるようにする。	

学習計画		
学習項目	学習内容	評価方法
楽典 ソルフェージュ (35)	① 楽譜の読み方の基礎知識を身につける。 音部記号、拍子記号、調号、音符と休符、繰り返し記号 ② 教科書の歌を歌えるようにする。 音名唱での歌い方、 ③ リズムに読み方を学び、聞き取れるようにする。 拍について、拍子の種類、強起と弱起、リズム聴音	前期 <実技テスト> 視唱テスト リズム聴音テスト <筆記テスト> 楽典に関する内容
楽典 ソルフェージュ (35)	① 楽譜の読み方の基礎知識を身につける。 付点音符、連符、コードネーム、音階 ② リズムの読み方を身につける。リズム打ち練習 拍子の変化、シンコペーション、いろいろな国のリズム ③ 簡単な曲を聞き取れるようにする。聴音 視唱・・・音程の取り方	後期 <実技テスト> コードネームテスト 聴音テスト 視唱テスト <筆記テスト> 楽典に関する内容

評価規準と評価方法			
評価は、次の4観点から行う。			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業に意欲的、積極的に取り組んでいる。	得た知識を基に、課題に取り組むことができる。	基本的な知識を身につけられる。	得た知識を基に、さらに難しい課題に取り組もうとしている。
実技テスト・筆記テストの結果とプリント課題提出の他に、授業の取り組み方を総合的に評価する。			

授業の進め方、課題・提出物など
授業ではプリント課題学習が中心となる。毎時間ひとつの課題プリントを確実にこなし、節目節目でペーパーテストを行う。それらを基に実技テストをする。

担当者からのメッセージ
ソルフェージュは、音楽の基礎を学ぶ授業です。楽譜に書かれている音符や記号は国語や英語でいう「文字」です。それらが理解できると、音楽の楽しみ方が広がっていくと思います。音楽 I と違い、座ってプリント学習が基本ですが、その時間に学んだ知識を生かして実技も行います。ここで得た知識は音楽を楽しむ一助となるとと思います。めげずに取り組んで下さい。